



12月8日(土)

第19回森林シンポジウム

第

19回森林シンポジウム(主催:伯耆町豊かな森づくり実行委員会)が、12月8日、岸本公民館で開催され、町内外から約70人の参加がありました。

基調講演では、鳥取県農林水産部森林・林業振興局長 地原 伸さんが「これからの林業について」と題し、講演されました。

実践発表では、岸本中学校・溝口中学校2年生が7月2日～6日に伯耆町丸山で行った林業施設体験の感想を、大山ブナを育成する会会長の吉岡淳一さんがこれまでの活動内容について発表されました。

また、「美しい豊かな自然環境を守り、森をどう育ていくのか」森林・林業の現状と課題」をテーマに、パネルディスカッションが行われ、それぞれの立場や考え方から議論し、私たちの身近にある森林を守り、林業を活性化したいという気持ちを共有しました。



▲パネルディスカッションで意見交換



12月22日(土)

今シーズンの安全を祈願

〜大山ますみず高原スキー場開き祭〜

今

シーズンの安全と降雪を祈願するスキー場開き祭が12月22日(土)ますみず高原スキー場で開催されました。

初めに森安保町長ら関係者が出席し神事が行われ、今シーズンの安全と降雪を祈願しました。当日は積雪不足のためリフトの無料開放とパネル滑走は、行われませんでした。今後の降雪と安全な営業を祈念し、会場では冷えた体をいやす豚汁の振る舞いや、豪華賞品が当たる抽選会が行われ、多くの来場者で賑わいました。



▲今シーズンの安全を祈願する関係者